

【別紙1-2】

1. 希少植物の生息域外保全活動 植物栽培方法等の比較表

(注1) 実生……種子から発芽した苗を育てること

(注2) 少なくとも平日(毎日)の管理ができる場合の育てやすさ

	種名 (科名)	レッドデータブック 掲載ランク(国、府)	花期	自生地の環境	栽培環境・方法 (容器栽培として)		更新・繁殖の方法 【交雑しやすい植物は実生(※1)を推奨しない】	育てやすさ(注2) 5(易)~1(難)
					日照	水やりの注意		
A	フタバアオイ (ウマノスズクサ科)	—	3~5月	落葉樹林下、谷間の法面	春先は明るい場所、5月は半日陰、6~9月は日陰に。	水はけの良い土で、ムレないように。5月~9月は乾燥に注意する。	株分け、実生	3
B	フジバカマ (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅寸前種	(1年目) 9月下旬~10月	川の堤防、水田周辺などの明るい水辺	日当たり好む。盛夏の西日は苦手。	盛夏は腰水灌水し、1日2回やる(どうしても不可能な日は日陰に置く)	挿し芽、株分け(親株の3年目以降は更新を推奨)	4
D	キクタニギク (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅危惧種	10月下旬~11月	乾いた川の法面、山麓の土手	日当たり好むが、盛夏の日射は苦手。短日植物であり、夜間照明の近くに置くと開花が遅れる。	乾燥にはやや強いが、盛夏は乾燥に注意。	株分け、実生(親株の3年目以降は更新を推奨)	4
E	オミナエシ (スイカズラ科 /旧オミナエシ科)	京都府準絶滅危惧種	8月~10月	日当たりのよいやや湿った里草地	日当たり好む。盛夏の日射は苦手。	乾燥にはさほど強くない。盛夏は1日2回やる(どうしても不可能な日は日陰に置く)	株分け、実生(親株の3年目以降は更新を推奨)	4
J	ノカンゾウ (ススキノキ科 /ワスレグサ科)	京都府絶滅危惧種	7月~8月	日当たりのよいやや湿った里草地	日当たり好む。	夏は乾燥に注意。盛夏は腰水灌水する。	株分け、実生	5
L	ノハナショウブ (アヤメ科)	京都府準絶滅危惧種	5月~6月	日当たりのよい湿原、湿った里草地	日当たり好む。	湿気を好み、乾燥には強くない。夏は腰水灌水する。	株分け	5